



ヲ買ッテ置クト云フ制限ハ不必要ニナル譯ニアリマス、第三號ノ國債又ハ公債若ハ生産物ヲ擔保トスル三箇月以内ノ短期貸付又ハ手形ノ割引ヲ爲スコト「ヲ削除シテシマヒシマシタノハ、是モ相互主義ヲ重ク視ルノ結果、成ベク他ノ方面ニ手ヲ出サヌ方ガ當分安全デアラウ、斯ウ云フ見地カラ削除シタノデアリマス、第十八條ニ於キマシテ商法ノ規定ヲ準用シテ置キマシタガ、是ハ株式會社ノ規定ヲ準用スルト云フ第七條ノ規定ガ削除セラレタ結果、特ニ必要ナ事ハ勅令ヲ以テ定メタ方ガ便利デアラウト思ヒシテ委ネタ次第デアリマス、而シテ其ノ第三項ニ「社債ニ關スル規定ハ業債券ニ付之ヲ準用ス」ト云フ條項ヲ入レタコトハ、是ハ課稅上ノ必要カラ來タノデアリマス、第一二一條ニ於テ「消滅事項」云々ト云フコトヲ入レマシタノハ、修正以前ノ原案ニ於キマシテハ消滅事項デアルカ何デアルカガ判然トシテ居リマセヌ、隨テ是ハ消滅事項ノ規定デアルト云フコトヲ明白ニスルガ爲ニ斯ク改メタノデアリマス、第二十四條ノ「產業債券ノ發行ニ關スル印紙稅及登錄稅ハ之ヲ免除ス」ト云フノヲ削除致シマシタノハ、之ヲ免除スルノハ宜シクナシト云フ意見モアリマシタノデ、サウ云フ意見ニ從ツタ次第デアリマス、第一六條ニ於キマシテ本法中主務大臣トアルハ、農商務大臣、大藏大臣ノ兩大臣デアルコトヲ規定シマシタノハ、誤解ヲ避タル爲ニシタノデアリマス、最後ニ設立ニ關シテ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトヲ規定シマシタノハ、色々此外ニモ手續上遺漏ガアルカモ知レヌト思ヒマシタノデ、斯ウ云フ規定ヲ置ケバ、吾々ノ氣付カナカタ所ヲ勅令ヲ以テ補フコトガ出來マスカラ、此條文ヲ増シタノデアリマス、以上修正ノ理由由來ニ付テハ略々御存ジノ事ト思ヒマスカラ、多クハ申上ゲナクトモ御諒解ヲ得ルコト、存ジマス

○武藤委員長　瀧君ニ念ノ爲ニ承ツテ置キマスガ、今御修正中ニ第十五條「產業組合中央金庫ハ定期預り金ヲ爲スコトヲ得」ト云フ條項ヲ削除セラレマシタガ、是ハ諸君ノ希望ガ多イカラト云フ御言葉カアリマシタガ、言葉尻ヲ取ル譯デアリマセヌケレドモ、相互主義ノ本法ノ精神ニ副フヤウニ削除セレタノデアリマシテ、諸君ノ希望トカ云フコトハ大分耳障リデアリマスガ、言葉ノ達ヒデハアリマセヌカ○瀧委員　成程ソレデ宜シウゴザイマス、私ノ修正シマシタノハ公益的デアブテ相互主義ニ重キヲ置ク中央金庫トシテハ、一般銀行トノ競争ヲ起シテハ宜シクナイト云フコトヲ、皆サンノ御議論ノ中ニ氣付キマシタノデ斯ウシタノデアリマス

四條第一項中ニ「三千万圓」トアルノヲ「五千万圓」トシテ  
「三十万口」トアルノヲ「五十万口」ト致シマス、第五條第二項  
項中「千五百万圓」トアルノヲ「一千五百万圓」ト改メ、第十  
一條第一項中「理事長、副理事長、理事及監事」トアリマスノ  
ヲ「及監事」ノ三字ヲ削ッテ別ニ一項ヲ加ヘマズ、ソレハ「監  
事ハ出資者總會ニ於テ之ヲ選定ス」是ガ第二項トナルノデ  
アリマス、ソレカラ同條第二項中「再任ヲ命スルコトヲ得  
トアリマスノヲ「再任ヲ妨ケス」ト改メマス、ソレカラ第十  
二條ヲ左ノ如ク改メマス「産業組合中央金庫ニ評議員二十  
名以内ヲ置ク」是ガ第一項デアリマス、第二項ハ「評議員中  
十名以内ハ主務大臣之ヲ任命シ他ノ十名以内ハ出資者總  
會ニ於テ之ヲ選定ス」ト云フノヲ加ヘマス、第十一條ノ次ニ  
左ノ一條ヲ加ヘテ以下順次繰下ゲマス、其條文ハ「理事長、  
副理事長、及理事ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務  
又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ主務大臣ノ認可ヲ得タ  
ル者ハ此ノ限ニ在ラス」ト致シマス、ソレカラ第十二條ノ各  
號ノ「所屬」ト云フ文字ヲ總テ削リマス、第二十條ノ「無記名  
利札附」ト云フコトニ又ハ割引債券」ト云フ文字ヲ加ヘマ  
ス、ソレカラ附則ノ第三十九條ノ前ニ左ノ一條ヲ加ヘマス、  
ソレハ「本法中主務大臣トアルハ第十一條第二十二條第二十  
九條第三十條第三十四條第四十條及第四十一條ニ在リテハ  
農商務大臣及大藏大臣其ノ他ニ在リテハ農商務大臣トス  
是ガ新ニ加ハル所ノ修正デゴザイマスガ、尙ホ其立瀧君ニ  
依ツテ提案セラレマシタ修正案ニ付テ賛成ノ點モゴザイマ  
スルシ、反対ノ點モゴザイマスルカラ、此修正ニ對シテ原案  
トアリマスガ、是ハ原案ノ通り、ソレカラ第一號ト第三號ハ  
第十五條デアリマス「産業組合中央金庫ハ定期預り金ヲ爲  
スコトヲ得」トアリマスガ、是ハ原案ニ復活スル、原案通り、ソ  
レカラ第十六條デアリマス、第十六條ノ本文ニ「預り金又ハ」  
トアリマスガ、是ハ原案ノ通り、ソレカラ第一號ト第三號ハ  
原案通りニ復活スル「預り金ノ四分ノ一以上ハ」ト一號ニア  
リマスガ、是ハ原案ノ通り、第一號ハ修正案ノ通りデ宜イ、  
第三號削除ト云フノハ原案ノ通りニ復活シタイ、ソレカラ  
第三十七條「預り金又ハ」トアリマス、是モ原案ノ通りニ復  
活スル、是ダケガ瀧君ノ修正案ニ對シテ原案ニ戻シタイト  
云フ考デアリマシテ、其以外ノ點ト全然瀧君ノ修正案ニ吾々  
モ同意ヲスルト云フ考ナノデアリマス、修正ノ各項ハ右ノ  
通りデゴザイマス、極ク簡單ニ其理由ヲ申シテ置キタイト  
思ヒマス、第一ニ資本金ノ増加、此點ニ付キマシテハ、吾々  
ハ三千万圓デハドウモ此大事業ヲ行フニ資力ガ少ナ過ギ  
ル、殆ド初メテヤル事デハゴザイマスクレドモ、産業組合中  
央金庫ノ設立ト云フ問題ハ、實ハ十數年來ノ懸案トナツテ、識

者ノ頭ヲ惱マシテ居タ問題デゴザイマスルカラ、此際懲  
之ヲヤルト云フ場合ニ於キマシテハ、中々大ナル責任ヲ持ッ  
テ居リ、大ナル使命ヲ持ッテ居ル所ノ事業デアルカラシテ、  
隨テ資力ニ付テモ初カラ十分ニ用意ヲシテ掛ル必要ガアル  
カラ、ドウモ今日ノ状態カラ考ヘテ見マスルト、三千万圓ノ  
資本ト云フ事デハ、直ニ行詰ルヤウナ事ガ起リ得ルカラ、少  
クトモ五千万圓位ニスル必要ガアラウト云フ意味ニ於テ、  
増額ヲ致シタノデアリマス、隨テ政府ノ出資額モ千五百万  
圓ト云フノハ二千五百万圓トシマシテ一千五百万圓ヲ無  
利子デ政府ガ出スト云フコトハ多少苦痛デゴザイマスケレ  
ドモ、此位モ金ヲ出シテ、此中央金庫ヲシテ思フ存分ニ活動  
ヲサセル爲ニ、政府トシテ此位ナ犠牲ヲ拂ッテモ宜シイ、但  
シ本年ノ追加豫算案ハ、或ハ政府ノ都合上五百万圓以上ヲ  
出スコトハ困難デアラウ、ソコハ吾々モ察スル事デアルカラ  
ラ、ソレハ五箇年ニ割ッテ、年々五百万圓ヅ、遂ニ二千五百  
万圓ニ達セシムルト云フコトニスルナラバ、政府モ大シテ  
苦痛デナカラウト思フカラシテ、政府ガ二千五百万圓、産業  
聯合會及産業組合ラシテ二千五百万圓出資ヲセシムルト云  
フコトニシタイ考デアリマス、此修正ヲ致シマスルト、自然  
此各組合ノ出資口數限度ハ或ハ二百ノロ、數デハ少ナク、資  
力ノ非常ニ富ンデ居ル所ノ組合ナドハ、モウ少シ多ク出サ  
セルト云フコトニスル方ガ、出資總額ガ増加シテ宜カラウ  
ト思フカラ、一百口ト云フノヲ三百口ニ改メルト云フコト  
ハ、サウ云フ主義カラヤッテ居ルノデアリマス、ソレカラ第  
二ノ點ハ、先日來屢々質問應答ヲ重ねテ居マシタ、此中央金  
庫ノ機關、此機關ハ總チ任命權ヲ主務大臣ガ持ッテ居ルト云  
フコトハ、是ハ餘リニ官權萬能ニ過ギル事デアルカラ、矢張  
或ル程度マデハ自治的ニ之ヲヤラヌ必要ガアル、併ナガラ初  
メノ内カラ理事長、副理事長、或ハ理事等マデ總チ選舉デ選  
ブト云フコトニ致シマスルト、是ハ多少危險ノ伴フ事デモ  
アルシ、政府トシテ見レバ、二千五百万圓ヲ無利子デ十數年  
間出スト云フ非常ナ犠牲ヲ拂ヒ、又低利資金ヲ追々澤山之  
ニ出シテヤラナケレバナラヌト云フ大ナル犠牲ヲ拂フノデ  
アル、隨テ或程度マデ役員ノ任命權ヲ與ベルト云フコトハ  
必要デアリマスガ、總チノ機關ヲ主務大臣ニ一任スルト云  
フコトハ、餘リ是ハ不公平ナ遣方デアル、恐ラク他ニ類例ヲ  
見ナイ位ノモノデアルカラ、或ハ理事マデモ出資者總會デ  
決メルト云フコトガ宜イノカモ知レヌカ、先づ初メノ間ハ、  
政友會ノ御提案者ノ趣意モ御尤ノ所ガアルト酌取りマスカ  
ラ、マア理事マデハ主務大臣ガ之ヲ任命スルコトハ宜シイ  
ガ、少ナクトモ監事及評議員ト云フモノハ、出資者總會ナリ  
其他ノ方法ニ於テ、政府ノ手ヲ離レタモノニ依ツテ、任命ス  
ル必要ガアラウト云フ考カラ、此修正ヲ致ス考デアリマス

他ノ例ヲ見マシテモ、マア會社ヤ銀行デ言ヘバ、監査役マデ  
ヲマルデ同ジヤウナ人間カラシテ選ブト云フコトハ、是ハ  
甚ダ面白クナイ、詰リ監事ト云フモノハ、理事長以下ノ役員  
ニ不都合ハ無イカ否カト云フコトヲ、十分監視スルト云  
重要ナル使命ヲ持テ居ルコトデアルカラシテ、之ヲ有名無  
實ノ者タフシメズシテ、相當ナル效果ヲアラシメヤウトス  
ルナラバ、矢張別ノ所カラ離レタル者ヲ以テスルト云フコ  
トハ、是ハ當然ナ事デアル、ソレヲ總テ主務大臣ガ任命スル  
ト云フ立テ方ニシテ置クト、殆ド官邊ニ於テモ、理事長等ト  
同種類ノ人ヲ選ブト云フコトハ極リ切タ事デアリマスカラ  
少クトモ監事ノ選任ト云フコトニ付キマシテハ、出資者  
總會ニ於テ之ヲ選定スルコトニスル、ソレカラ評議員亦然  
リ、評議員ト云フ者ハ、唯、單純ナ諸問機關デゴザイマス、  
諸問機關デアリマスケレドモ、此評議員ト云フモノヲ少シ  
ク有意義ノ者ニシヤウト云フコトニシマスト、矢張主務大  
臣ガ全部之ヲ任命スルト云フコトヲセズシテ、先づ半數ダケ  
ハ出資者總會デ之ヲ決メルト云フコトニスルナラバ、幾ラカ  
民意ヲ現ハス、唯、政府ガ勝手氣儘ナ事ヲヤルニ非ズシテ、  
兩方ノ者ノ妥協點ヲ採ル趣意ニ於テ、總テノ仕事ヲシテ行  
クト云フ意思ヲ現ス上カラ考ヘマシテモ、ドウシナラバ、幾ラカ  
一方ダケハ斯ウ云フ趣旨ニスルノガ至當ダト云フ趣意ニ於  
テ變ヘル譯デアリマス、昨日モ農商務大臣デアリマシタカ  
ノ話デ、役員選定ノ際ニ、色々争方起々タリスル心配ハナカ  
ラウカト云フ御話デアリマシタガ、併ナガ私共見ル所デハ、  
此産業組合ノ從來ノ遣方及成績等カラ推シテ見マスト、斯  
ウ云フ問題デ或ル一派ノ者ガ、ドウスルトカ、或ハ非常ニ競  
争ヲ起シテ大變ナ弊ヲ起スト云フコトハ、是ハ斷ジテ無イト思  
ト思ヒマス、産業組合ノ從來ノ遣方ハ中々絢麗ニ行ヘ居ル、  
立派ニ行ツテ居ル、決シテ斯ウ云フ事ノ爲ニ争方起々テ、選定其  
人ノ宜シキヲ得ナイト云フ心配ナドハ私ハ斷ジテ無イト思  
ヒマスカラ、願クハ斯ウ云ノ修正ヲ行フコトニシタイト云  
フ考デアリマス、ソレカラ此十二條ノ次ニ一條加ヘマシタ  
ノハ、即チ役員ヲシテ色々他ノ仕事ニ從事スルト云フコ  
トハ止メタイ、主務大臣ニ任命サル、官吏タルガ爲ニ非ズ、  
専心一意仕事ヲヤシタイト云フノデ、是ハ中央金庫ノ性  
質ナル遺方ヲシテ居テ貴ハナケレバナラム所ノ役人デ  
アルカラ、是ハ他人ノ色々ニ手ヲ出スト云フコトハヤ  
ラヌデアリマセウケレドモ、若シヤルト云フコトガアッテハ  
甚ダ面白クナイカラ、斯ウ云フ規定ハ特ニ必要デアルト云  
フ意味デアルノデアリマス、第十三條ノ「所屬」ト云フ字ヲ

削ルノハ、是ハ一應原案ニ尤ナ點モアルトハ考ヘマスルケ  
レドモ、何分マダ中央金庫ト云フモノヲ始メマシテモ、仕  
事ノ範圍ガ中々手廣クヤリ難イダラウト思ヒマスカラ、所屬  
ト制限セズシテ他ノモノニモ行キ得ルヤウニ、成ベク營業ノ  
範圍ガ廣クナルヤウニスル意味ニ於テ、「所屬」ト云フ窮屈  
ナル文字ハ、之ヲ削ッタ方ガ宜カラウト云フ意味カラ取ルノ  
デアリマス、第二十條ノ「無記名利札」ト云フ以外ニ「割引又  
ハ割引債券」ト云フ文字ヲ加ヘルノハ、是ハ「無記名利札」ハ  
舊式デアリマシテ、寧ロ「割引債券」ヲ加ヘテ相當ニ「割引シタ  
モノデヤル方ガ、餘程新式デアリマス、併ナカラ無記名利札  
ヲ全然止メルコトハ出來マセヌカラ、便宜上「割引債券」ト利  
札ノ兩方ヲ用キルヤウニスルノデアル、斯ウ云フ意味デア  
リマスゾレカラ附則ニ改正ヲ加ヘル理由ハ、ドウモ主務大  
臣ノ問題ガ甚ダ從來ハ面倒デアリマス、ソレ故ニ農商務大  
臣若ハ大藏大臣トシテ修正ヲシヤウト云フ改正ノ意見ト思  
ヒマスケレドモ、宜ク考ヘルト云フト、之ヲ兩大臣ニスルコト  
云フト、行政事務ヲ運ブ上ニ於テハ非常ニ煩雜デ、理窟ヲ言  
ヘバドンナ細カイ事デモ皆兩大臣ニ持テ行カナケレバナ  
ラヌヤウニナリマシテ、中央金庫ニ關スル總テノ問題ガ兩  
屬スルト云フコトニナッテ、所謂兩頭ノ蛇ト云フコトニナッ  
テ、甚ダ仕事ガ運ビ難イコトモアリマス、サレバト云ウテ之  
ヲ証議スル譯ニハ參リマセヌガ、吾々ノ考デハ何方カニ所  
屬ヲ決メル、而シテ或ル特別ナ非常ニ密接ナ關係アルモノ  
ニ付テハ兩大臣ノ認可ヲ經ルトカ、兩大臣ニ監督ヲシテ貰  
ヒタイト云フ立テ方ニシマセヌト云フト、單ニ兩屬ト云フ  
コトニ致シマスト云フト、非常ナ面倒ナ事ガ起ルト云フコ  
トヲ懸念致シマシテ、本法中十一條以下は々ノ條文ニ付テ  
ハ兩大臣、其他ニ付テハ農商務大臣、斯ウ云フ立テ方ニシタ  
ノデアリマス、例ヘバ地方ノ行政事務ニ付テモ、一般ノ事ニ  
付テハ内務大臣、併ナガラ財務ニ關スル事ニ付テハ大藏大  
臣、或ハ教育ニ關スル事ニ付テハ文部大臣ト云フ立テ方ニ  
シテ居ルト同様ニ、本員ノ考デハ大體ニ於テハ農商務大臣、  
詰リ産業組合ソレ自ラガ、從來農商務大臣ノ所管ニナリ來  
テ居ルコトデアルシ、又産業組合ヲ中心ニシテ行フ金融機  
関デアルカラ、金融ノ上カラ云ヘバ大藏大臣ニ關係アルガ、  
鬼ニ角産業組合ヲ中心ニシテヤツテ行クナレバ、矢張主務大  
臣ヲ農商務大臣トスルノガ宜カラウ、併ナガラ事柄ソレ自ラ  
金融機關トシテ大藏大臣ニ關係ガ多イコトデアリマスカラ、  
吾々ニハ其條文ヲ列記シテ、十一條ノ産業組合ノ中権機關  
ヲシテ働く人間ニ關シテハ、大藏大臣先づ之ニ關與スル必要  
ガアル、又之ヲ監督ラシテ居ル管理權ニ付テハ、大藏大臣ガ  
矢張ニ關係スルガ宜カラウ、ソレカラ定款ヲ作り、又ハ之  
ヲ改正スル事ハ是ハ大藏大臣ガ、所謂是ハ中央金庫ノ憲法

デアルカラ、其憲法ヲ作リ或ハ之ヲ變更スル場合ノ如キハ兩  
大臣ニ屬スル事ニシナケレバナラヌ、又産業債券ノ發行、是ハ  
大藏大臣ノ最モ關係深イ事デアリマスカラ、此事柄ニ付テハ  
固ヨリ大藏大臣ノ領威デアル、ソレカラ剩餘金ノ處分デアル  
ガ、是ハ政府トシテ二千五百萬ノ犠牲ヲ拂ッテ之ヲ膨脹シヤ  
ウト云フ譯デアリマスカラ、無暗ニヤッテハ困ル、財政ニ非  
常ナル影響ガアルト云フ意味カラ、斯ウ云フ風ニ或ル一定  
ノ條ヲ舉ゲマシテ、之ニ付テハ大藏大臣、農商務大臣ノ所  
屬トスル積リ、是ハ骨子ニ付テハドウシテモ大藏大臣ノ意  
見ヲ十分ニ容レテ、農商務大臣ガヤツテ行カナケレバナラヌ  
規定ヲ置カウトスル考デアリマス、尙ホ政友會ノ只今瀧君  
ノ御修正案ニ付キマシテ原案ニ復活シタイト云フ考ハ、即  
チ第十五條ノ定期預金デアリマス、是モ成程見方ニ依リマ  
シテ御尤ナ點モアラウト思ヒマス、併ナガラ餘リニ此政府  
ノ低利資金バカリヲ的ニシテ居ルト云フヤウナ造方デハ、  
ケレドモ、他ノ普通ノ事務ハ——一般ノ行政事務ハ寧ロ單  
純ニ農商務大臣ノ所屬ニスルコト、云フコトガ、仕事ヲ運  
ブ上ニ於キマシテハ便宜デアラウト云フ考カラ、此附則ノ  
屬スルト云フコトニナッテ、所謂兩頭ノ蛇ト云フコトニナッ  
テ、甚ダ仕事ガ運ビ難イコトモアリマス、サレバト云ウテ之  
ヲ証議スル譯ニハ參リマセヌガ、吾々ノ考デハ何方カニ所  
屬ヲ決メル、而シテ或ル特別ナ非常ニ密接ナ關係アルモノ  
ニ付テハ兩大臣ノ認可ヲ經ルトカ、兩大臣ニ監督ヲシテ貰  
ヒタイト云フ立テ方ニシマセヌト云フト、單ニ兩屬ト云フ  
コトニ致シマスト云フト、非常ナ面倒ナ事ガ起ルト云フコ  
トヲ懸念致シマシテ、本法中十一條以下は々ノ條文ニ付テ  
ハ兩大臣、其他ニ付テハ農商務大臣、斯ウ云フ立テ方ニシタ  
ノデアリマス、例ヘバ地方ノ行政事務ニ付テモ、一般ノ事ニ  
付テハ内務大臣、併ナガラ財務ニ關スル事ニ付テハ大藏大  
臣、或ハ教育ニ關スル事ニ付テハ文部大臣ト云フ立テ方ニ  
シテ居ルト同様ニ、本員ノ考デハ大體ニ於テハ農商務大臣、  
詰リ産業組合ソレ自ラガ、從來農商務大臣ノ所管ニナリ來  
テ居ルコトデアルシ、又産業組合ヲ中心ニシテ行フ金融機  
関デアルカラ、金融ノ上カラ云ヘバ大藏大臣ニ關係アルガ、  
鬼ニ角産業組合ヲ中心ニシテヤツテ行クナレバ、矢張主務大  
臣ヲ農商務大臣トスルノガ宜カラウ、併ナガラ事柄ソレ自ラ  
金融機關トシテ大藏大臣ニ關係ガ多イコトデアリマスカラ、  
認メルガ宜カラウト云フ考デ、原案ニ復活シタイ、其他ニ付  
居ル、三號ノ改正モ矢張少シク仕事ノ範圍ヲ擴メテヤル、即  
チ産業組合中央金庫ヲシテ、幾分銀行業ニ近イヤウデアル  
ト云フ考ヘカラシテ、第十五條ノ復活ヲ希望スル、又第十  
六條モ同ジ趣意カラシテ、一號ノ改正モ其趣意カラ起々テ  
少シ營業ノ範圍ヲ擴ゲルト云フコトハ惡クナイコトデアル  
ト云フ考ヘカラシテ、第十五條ノ復活ヲ希望スル、又第十  
六條モ同ジ趣意カラシテ、一號ノ改正モ其趣意カラ起々テ  
ト云フ考ヘカラシテ、第十五條ノ復活ヲ希望スル、又第十  
六條モ同ジ趣意カラシテ、一號ノ改正モ其趣意カラ起々テ  
居ル、三號ノ改正モ矢張少シク仕事ノ範圍ヲ擴メテヤル、即  
チ産業組合中央金庫ヲシテ、幾分銀行業ニ近イヤウデアル  
ケレドモ、活動ノ範圍ヲ擴ゲテヤルト云フ趣意ニ於テ之ヲ  
認メルガ宜カラウト云フ考デ、原案ニ復活シタイ、其他ニ付  
居ルコトデアルシ、又之ヲ監督ラシテ居ル管理權ニ付テハ、大藏大臣ガ  
ガアル、又之ヲ監督ラシテ居ル管理權ニ付テハ、大藏大臣ガ  
矢張ニ關係スルガ宜カラウ、ソレカラ定款ヲ作り、又ハ之  
ヲ改正スル事ハ是ハ大藏大臣ガ、所謂是ハ中央金庫ノ憲法

共多大ノ贊意ヲ表スル者デアリマス、私共ハ事業組合ニ對シテ、極メテ基礎ノ強固ナ、而モ普遍的ニ參ル所ノ金融機關ガナケレバ、堅實ナル産業ノ發達ヲ圖ルコトガ出來ナイシ、又極メテ小資本、又資力ノ乏シイモノニ對シテハ、金融ノ機關途方無イト思ヒマス、斯様ナ機關方出來ルト云フコトハ多大ノ贊意ヲ表スルモノデアリマス、洵ニ結構ナ事ダト思ヒマス、ソレ一付キマシテモ只今下岡君カラ申述ベラレマシタ通り、努メテ之ヲ健全ナルモノトスルト共ニ、一面ニ於テ民衆的ノ機關ニスルコトヲ必要トスル、其意味ニ於ギマシテ、役員ノ任命方法選出方法ニ付キマシテハ、下岡君ノ提案サレタ事ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、又第十三條ニ於キマシテ「所屬」ト云フ字ヲ削ルコトニ付テモ下岡君ガ述べラレマシタ通り、唯ニ之ニ所屬スル所ノ組合ダケニ制限サル、日ニハ、此後新ニ興ル所ノ組合其他ノモノニ對シテ普遍的ニ參ラナイ、務メテソレヲ民衆的ニ普遍的ニシタイト云フ點ヲ考慮スルナラバ、其所屬ト云フ字ヲ削ルノガ當然デアル、又十五條十六條ノ修正ニ付キマシテモ下岡君ガ述べラレタモノニ對シテ、敢テ私ガ蛇足ヲ附スル必要ハナイト思ヒマスガ、此産業組合中央金庫ヲ私共ノ考へマスルガ如ク、務メテ之ヲ強イモノニシテ行渡ルモノニシヤウト致シマスレバ、定期貸付ケヲ爲スコト、或ハ國債又ハ公債等ニ付キマシテモ相當ノ取扱方出來ルヤウニスルコト、手形ノ割引モ出來ルヤウニスルコトガ、只今下岡君ノ申サレタ通り、或ハ純然タル銀行業者ノ範圍ヲ侵ヌヤウニナルカト云フ懸念ノアルト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイ事ト思ヒマス、併ナガラ既ニ金融ノ問題ヲ掌ル、極メテ微力ナ資産ノ無イ人物ヲ、啻ニ政府カラ出資スル金額バカリデナク、事業組合自ラガ其力ヲ培養シ、殊ニ借受ケマス者以外ニ、事業組合或ハ産業組合以外ノモノトモ成ルベク金融上圓滑ニシテ、密接バ避ケラレナイ事デアリマス、故ニ成ベク此中央金庫ノ資本關係ヲ維持シテ行クト云フコトガ、尙更此金庫性質ニ副ウテ、其地位ヲ鞏固デラシメ、且ツ其效力ヲ發揮スルコトニ於テ便宜ナラシメルモノナリト思ヒマスガ故ニ、此修正ニモ贊意ヲ表スル譯デアリマス、其他ノ事ハ下岡君ノ述べラレタ通りアリマス、又其他ノ政友會ノ諸君カラ御修正ニナリマシタ事ニ付キマシテハ私共贊意ヲ表シマス、下岡君ノ修正ニ對シテハ私ハ全部同意ヲ致スモノデアリマス〇守屋委員、私ハ政友會ノ修正意見ニ贊成スル者デアリマス、成程先程來下岡君ヨリ、色々憲政會ノ御修正意見ニ對シ

テ御説明ガアリマシタノニアリマスガ、勿論今回御提案ナナリマシタ産業組合中央金庫法ナルモノハ、多年我産業組合界ニ於テハ要望シテ居リマシタ法案デアツテ、一日モ法案ノ通過ヲ困難ナランメルコトハ吾々トシテハ遺憾ニ存ジテ居リマス、ソレ故ニ此組合法ガ、今日政友會ノ御提出ナリマシタ組合法ト修正法トガ、完璧ノモノデアルト云フコトハ私共申上ダマセヌ、又憲政會ノ御修正ニナリマシタノニ付シテモ、私ハ全然是ガ完璧ノモノデアルト云フコトニ同意モ出來ナイノテアリマス、寧ロ今日ノ場合ハ、一日モ早ク此組合法ヲ實施スルト云フコトガ私等ノ希望デアル、サウンシマスルト云フト、先程憲政會ノ下岡君が御述ナリマシタ第十五條ノ組合法、組合定期預り金ヲ爲スコトヲ得ト云フヤウナ文字ニ對シテモ、或ハ若シモ此中央金庫法ヲ訂正サレタ場合ニ於テ、他ノ銀行業者ノ業務ノ侵スヤウナ場合ガナイトモ限ラヌ、之ヲ更ニ私等ノ立場カラ考ヘテ見マスト、産業組合ニ對シテモ、或ハシモ此中央金庫法ト云フモノヲ實施スルノデナクシテ、是ハ一面ニ於テハ産業組合ト云フモノニ對シテ、ドウシテモ此中央金庫法ヲ實施サセナケレバ、ナラヌ、同時ニ又他ノ金融業者ニ對シテモ、此金庫法ガ果シテ實施シタ場合ニ於テ、其業務ノ一部ヲ侵スヤウナ場合ガアリトシマシタナラバ、此法律ヲ制定スル吾々ノ任務トシテハ、此點ニ付テハ十分ニ考へナクチヤナラヌ事ト思フノテアリマス、ソレ故ニ私ハ先程來御述ニナリマシタ、定期預り金ノ如キモノヲ原案通り存續スルト云フコトハ、暫ク此場合ニハ政友會ノ修正ニ同意ヲ願ヒマシテ、サウンシテ今後若シモ此中央金庫法ガ實施シタ晚ニ於テ、ドウシテモ定期預り金若ハ他ノ預り金ヲ募集シナイ限りハ、此中央金庫法ノ活動ガ出來ナイト云フ場合ニ於テ、其場合ニ於テハ或ハ憲政會ノ御修正ニ對シテ、吾々ハ同意ヲ表スルカモノ知レマセヌケレドモ、只今ノ場合ハ此産業組合中央金庫法ガ實施ノ場合ニ於テハ、他ノ銀行業務ノ範圍ヲ侵スヤウナ場合ガアルト云フコトヲ吾々ハ杞憂スル一人デアリマスカラ、此點ニ付テ暫時ノ間憲政會ノ御修正ニ對シテ反対致スモノデアリマス、尙ホ先程「所屬」ト云フコトニ對シテ、植原君カラ民衆的又普遍的ノモノトシテ、ノガ一面ニ出來タ以上ハ、成ベク其中央金庫ニ加入シタル

モノニ對シテ、第一ニ恩典ニ浴サセル、其加入シタモノが恩典ニ浴シタ場合ニ於テハ、漸次他ノ産業組合モソレニ加入シマシテ、サウシテ中央金庫ノ恩典ニ浴スルコトノ出來ル方ガ、寧ロ漸進的發達ヲ期スルモノデナイカト思ヒマス、ソレ故ニ此所屬ナル文字モ暫クノ間置ク方ガ適當デハナリマシタ意見デアリマスケレドモ、斯ル意味ニ於キマシテ私ハ反対ヲ致シマス、政友會ノ御修正ニ對シテ賛成ノ意ヲ表シマス○牧野委員　本員ハ遺憾ナガラ、憲政會並ニ革新俱樂部カラ御提案ノ修正意見ニハ反対ヲ致シマス、特ニ本員ハスル反対意見ガ本委員會ニ出タコトニ多大ノ遺憾ヲ感スル者アリマス、本員等此法律案ヲ提出シテ以來、十分誠意ヲ以チマシテ、懇談會ニ於キマシテモ種々懇談ヲ申上ゲタノデアリマス、サウシテ此性質ニ副ヒマシタ修正案ガ、立派ニ其主義政策ニ於テ異ナルモノデアルナレバ則チ已ミマスケレドモ、此修正案ヲ見マスレバ、五十歩百歩ノモノニ非サレバ、吾々ノ不満トスル所ノモノモ忍シテ、敢テ茲ニ妥協點ニ訴ヘントスルニ對シテ、何等ノ同情モナク一蹴シ去ラントスルモノデアルテ、其間甚ダ同情ノナキ遠方デアル、國家ノ政策ヲ實行スル上ニ於テ、同情ノナキ修正デアルト私ハ思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ本員ハ從來十分御意見ノ在ル所マジタ、即チ此機會ニ於キマシテ私ハ修正ノ各條項ニ對シテハ、時間ガ迫リマシタカラ簡單ヲ旨トシナケレバナリマス、セシケレドモ、一々辯駁ヲ試ミタイト思ヒマス、第一ニ最モ注意ヲ致スベキ事ハ「所屬」ノ文字ヲ第十三條ノ各號ヨリ削ラントスルノデアルガ、是ハ本員ト致シテハ相當ニ注意ヲ拂フベキ點デアルト思フ、其所屬ヲ加ヘルト加フナイトハ、只今下岡委員並ニ植原委員ノ言ハレタヤウナソンナ小サナ問題デハアリマセヌ、之ヲ產業組合ノ沿革ニ徴シ、之ヲ各國ノ立法例ニ見マシテモ、此條項ニ「所屬」ト云フ文字ノ有ルト無イトハ、普遍的トカソシナ末葉ノ問題デハナクテ、本質的ニ本金庫ヲ大藏大臣ノ所管ニスルカ、農商務大臣ノ所管ニスルカ、相互的ノ色彩ヲ濃クスルカラ「バンク」式ノ色彩ヲ濃クシテ行クカト云フ重大點デ、其事情ニ於テ種々ナ理由ノアルコトヲ理解セラレナイデ、之ヲ非難セラレ、修正ヲ爲サルト云フコトハ、本員等ハ甚ダ之ニ遺憾ヲ感セザルヲ得ナイ、修正意見トシテ若シモ此條項ニ所屬ノ文字ヲ削レルナラバ、何故大藏大臣ノ所管トセヨト

言ハレナイカ、此所屬ヲ入レルト入レラヌトハ、諸君ノ  
言ハレルヤウナソソンナ淺薄ナ點ニ理由ガアルノデハナイ「ノ  
ウ」ノウ「ノ」ノウ「ノ」デハアリマセヌ、若シ之ニ對シテ反對ノ  
御意見ガアレバ十分私ハ聽キマス、此「所屬」ヲ入レルト云  
フコトハ、普國ニ於テ發達シテ來テ居リマスル所ノ農民金  
融機關ニ關スル「セントラルゲノッセンシャフト、カッセ」ノ  
方面ニ行クカ、ソレトモ他ノ方面ニ行クカノ岐路デアリ  
マス、實ハ私等ハ此兩者ヲ折衷セシムル爲ニ此條文ヲ入レ  
タノデアッテ、何モ特ニ一部組合ニ局限スル爲ノモノデハナ  
イト云フコトヲ言明致シテ置キタイ、之ヲ出発點ト致シマ  
シテ、私ハ各項ニ付テ申上ガタイ、先ツ第四條ト第五條ト  
第六條ニ關スル修正意見ハ、同一ノ議論ニ根據ヲ致シテ居  
リマスカラ是カラ申シマス、是ハ蓋シ現在ノ產業組合ト云  
フモノ、現狀ト、政府ノ財政ト云フモノトヲ考慮セラレナ  
イ残酷ナ修正トシテ本員ハ遺憾ニ存ジマス、何トナレバ本  
員等ガ資本ヲ三千萬圓トスルニ付テハ苦心ガアル、此苦心  
ノ第一ハ政府ノ現在ノ財政狀態ニ於テ、千五百萬圓以上ノ  
金ヲ支出スルコトガ可能的ニ豫想シ得ルヤ否ヤ、此點デア  
ル、成程毎年支出スル金ハ五百萬圓ニアリマセウケレドモ、  
現ニ皆サンガ御承知ノ通リ、今年議會ニ提出セラレマシタ  
ル恩給法ノ如キ、既ニ各黨各派ノ一致ノ意見ニ依テ、其修  
正ニ依ル增加ノ額ハ二千五百萬圓以上ニナッテ居ル、是モ政  
府ガ直ニ此一二年ニ於テ出スコトハ出來ナイ、故ニ向フ數  
年ノ間ニ分割シテ出サナケレバナラ、ソレハ五年若クハ  
六年掛ルト云フコトハ諸君御承知ノ通りデアル、此ノ場合政  
府ガ之ヲ爲スニ付テ、サウ五年モ六年モ毎年義務ヲ負フ所  
中央金庫ガ設立サレルト云フ時ニ於テ、三年間ニ五千五百萬圓  
ノ支出ヲ容易ニ贊成スルコトノ出來ナイ事情アルコトハ、  
諸君ト雖モ之ヲ諒モセラレナケレバナラスト思フ、諸君ノ理  
想トセラレ、吾々ガ之ヲ實行セントシテ居ル所ノ、此產業組合  
ノ無利子ノ金ヲ政府ヨリ提供サレルト云フコトニ對シテハ、  
諸君自身モ相當政府ニ對シテ、同情ノ念ヲ以テ敬意ヲ表セナ  
ケレバナラヌノアリマス、是方第一ノ點デアル、次ニ第二ニ  
於テ、全國ニ於ケル一万四千ノ産業組合ノ爲狀ニ思フ致サナ  
ケレバナラスト思フ、何トナレバ下岡委員ハ二百口ヲ三百口  
ニシテ、富裕ナ組合ヨリ多額ノ出資ヲセシメヲ方針ヲ執ラ  
ナケレバ、出資全額ヲ満タサシムコトノ出來ナイ處ガアルト  
言ヒ、懸念ガアルト言ハレテ居ル、然ルニ此點ニ關シ吾々ハ  
案ヲ立テルノデアッテ、實行ハ政府ニ委セルノデアルカラ、  
心配ハ要ラヌト云フヤウナ冷淡ナ心デ、此案ヲ通過セシメ  
テハナラナイノデアリマス、吾々ガ是等ノ案ヲ出スニ付テ  
ハ、吾々自身ノ力ガ幾ラ位ノ出資ナラバ、現在ノ產業組合ニ  
十分出資セシメルコトガ出來ルカ、萬一ニ成立ニ必要ナ出

資ヲ不足セシムルヤウナ事ガアッテハアラヌト、十二分ノ注  
意ヲ以テ責任ヲ持テ此案ニ掛ラナケレバナラヌノデアル、  
諸君ガ果シテ此責任ヲ負ヒ得ルヤ否ヤ、吾々ハ此案ニ於テ  
マス、實ハ私等ハ此兩者ヲ折衷セシムル爲ニ此條文ヲ入レ  
タノデアッテ、何モ特ニ一部組合ニ局限スル爲ノモノデハナ  
イト云フコトヲ言明致シテ置キタイ、之ヲ出発點ト致シマ  
シテ、私ハ各項ニ付テ申上ガタイ、先ツ第四條ト第五條ト  
第六條ニ關スル修正意見ハ、同一ノ議論ニ根據ヲ致シテ居  
リマスカラ是カラ申シマス、是ハ蓋シ現在ノ產業組合ト云  
フモノ、現狀ト、政府ノ財政ト云フモノトヲ考慮セラレナ  
イ残酷ナ修正トシテ本員ハ遺憾ニ存ジマス、何トナレバ本  
員等ガ資本ヲ三千萬圓トスルニ付テハ苦心ガアル、此苦心  
ノ第一ハ政府ノ現在ノ財政狀態ニ於テ、千五百萬圓以上ノ  
金ヲ支出スルコトガ可能的ニ豫想シ得ルヤ否ヤ、此點デア  
ル、成程毎年支出スル金ハ五百萬圓ニアリマセウケレドモ、  
現ニ皆サンガ御承知ノ通リ、今年議會ニ提出セラレマシタ  
ル恩給法ノ如キ、既ニ各黨各派ノ一致ノ意見ニ依テ、其修  
正ニ依ル增加ノ額ハ二千五百萬圓以上ニナッテ居ル、是モ政  
府ガ直ニ此一二年ニ於テ出スコトハ出來ナイ、故ニ向フ數  
年ノ間ニ分割シテ出サナケレバナラ、ソレハ五年若クハ  
六年掛ルト云フコトハ諸君御承知ノ通りデアル、此ノ場合政  
府ガ之ヲ爲スニ付テ、サウ五年モ六年モ毎年義務ヲ負フ所  
中央金庫ガ設立サレルト云フ時ニ於テ、三年間ニ五千五百萬圓  
ノ支出ヲ容易ニ贊成スルコトノ出來ナイ事情アルコトハ、  
諸君ト雖モ之ヲ諒モセラレナケレバナラスト思フ、諸君ノ理  
想トセラレ、吾々ガ之ヲ實行セントシテ居ル所ノ、此產業組合  
ノ無利子ノ金ヲ政府ヨリ提供サレルト云フコトニ對シテハ、  
諸君自身モ相當政府ニ對シテ、同情ノ念ヲ以テ敬意ヲ表セナ  
ケレバナラヌノアリマス、是方第一ノ點デアル、次ニ第二ニ  
於テ、全國ニ於ケル一万四千ノ産業組合ノ爲狀ニ思フ致サナ  
ケレバナラスト思フ、何トナレバ下岡委員ハ二百口ヲ三百口  
ニシテ、富裕ナ組合ヨリ多額ノ出資ヲセシメヲ方針ヲ執ラ  
ナケレバ、出資全額ヲ満タサシムコトノ出來ナイ處ガアルト  
言ヒ、懸念ガアルト言ハレテ居ル、然ルニ此點ニ關シ吾々ハ  
案ヲ立テルノデアッテ、實行ハ政府ニ委セルノデアルカラ、  
心配ハ要ラヌト云フヤウナ冷淡ナ心デ、此案ヲ通過セシメ  
テハナラナイノデアリマス、吾々ガ是等ノ案ヲ出スニ付テ  
ハ、吾々自身ノ力ガ幾ラ位ノ出資ナラバ、現在ノ產業組合ニ  
十分出資セシメルコトガ出來ルカ、萬一ニ成立ニ必要ナ出

ヲ容レルト云フコトハ、正ニ吾々ノ希望トスル所デアル、故ニ  
此點ハ是非折合テ吳レラレルヤウニト云フコトヲ、懇談會  
ニシテ、斯クノ如キハ成立ヲ望マレル所ノ修正ニ非ズシテ、  
ニシタイ、若シ過剰出資ト云フモノガ出來レバ、由テ以テ  
來年度ニ於テ更ニ此増額ヲスル、其時ニドレ位ノ増額ヲシ  
テ宜イカト云フ目安ヲ定メル便宜ニモナラウ、即チ此申込  
好景氣ノ出資ニ依テ來年ハ幾ラニ増加シテモ、多分ソレガ  
滿株ニナルデアラウト云フ其額ニモ、吾々ト諸君トガ責任  
ヲ持テ行キタイ、其爲ニハ餘大キイ額ヲ以テ設立シ、多  
クノ出資ヲ政府ニ迫ルト同時ニ、產業組合自ラノ出資ニ對  
シテモ、苦シイ立場ニ陥ルト云フガ如キコトノナイヤウニ  
シ、更ニ吾々ガ力ヲ協セテ、全國ノ產業組合ヲ獎勵スルコト  
ニ盡サナケレバナラヌト信ズルノデアル、然ルニ何等ノ根  
據モ無ク、唯ニ資本ノ多キヲ望ムト云フヤウナ理由ヲ以テ  
此三千万圓ヲ五千万圓ニ修正シ、之ニ對スル二三ノ事項ヲ  
修正セラル、ト云フコトハ無責任ナル修正ダト私ハ思フ、  
諸君ノ爲サル事ガ、一つノ理想ヲ以テソレニ到達セラルナ  
ラバイザ知ラズ、今日何等ノ根據ナクシテ額ノ多キコトヲ  
ノミ望ムト云フコトハ無責任思フ、諸君ガ政府ト相當交  
渉ヲ爲サレタ結果ノ増額ナラバイザ知ラズ、多キヲ望ムト  
云フコトデス様ナ修正ヲ出サレルト云フコトハ、無責任モ  
極マル修正ト本員ハ考ヘマス、第二ニ官僚的色彩ニ富ミ過  
ギルト云フコトニ付テ下岡委員ノ言ハレル所ニハ、心ヨリ  
敬意ヲ表シタイト思ヒマス、此點ニ付テ敬意ヲ表スル理由  
モ既ニ申述ベテアリマス、サリナガラ在此組合ノ金庫ノ  
出資者ハ、如何ナル者デアルカト云フコトヲ御考慮ヲ願ヒ  
タイソレハ自然人が出資者トナルノデハアリマセヌ、此出  
資者ハ國家ヲ始メ産業組合、産業組合聯合會、共ニ法人デア  
ル、法人ガ寄テタカツテ此金庫ヲ拝ヘル、ソコニ適當ナル人  
物ヲ得ルト云フコトニ對シテ、立案上ニ法律相當ナ注意ヲ  
要スルノデアリマス、又此法律ヲ認メル以上ハ、政府モ茲ニ  
十分ナル注意ヲシナケレバナラヌカシテ、特ニ吾々ハ忍  
ンデ以テ成立ノ初メ曾ノ間ハ、理事者ノ全部ハ政府之ヲ任命  
スルト云フ方針ヲ執リタイ、斯様ハ言テ居ルノデアル、又產  
業組合ノ出資者ヲ集メテ、其出資者總會デ選ブト云フコト  
ニナックナラバ、各組合ガ分立シテ、選舉ニ弊害ヲ生ズヤウ  
ナ事ガ出來テハナラナイト云フノデ、ソレ等ニ弊害ナカラシ  
ムルヤウニ三年ノ間ハ政府ノ任命トシ、數年後ニ改正ヲ爲  
ス事モ又晚クハナイ、寧ロ萬全ヲ期スル事ヲ豫想シテ斯ク規  
定シタノデアッテ、數年ノ經過ヲ見ク上ニ、アナタノ如キ意見

文ヲ入レテ、此理事長・副理事長ノ行動ヲ限局致シタイ、斯様ニ言ハレテ居ル、下岡委員、本員ハ此ニ至ラテ實ニ何トモキニハ、ドウモ官僚臭味ニ過ギルト言ヒナガラ、官僚臭味ヲ取ルニ努メタ本條ノ如キニ向クテハ、特殊銀行ニ皆此ノ規定ガアルカラ此條項ヲ入レヨト言ハレルガ、此條項位時代錯誤ノ條項ハアリマセヌ、現在ハ特殊銀行法ニ於テ、官僚的ノ規定ノ第一トシテ指摘セラル、モノハ御承知ノ通り此規定デアル、本條ヲ取り去ラテ、而モ本條ノ趣旨ヲ達セシメントスル、ソニニ民衆的ノ意義ガアル、規定無ケレドモ規定ガ有ルト同ジクセシムルト云フ所ニ、吾々ノ本當ノ民衆生活ノ意義ガ在ル、民衆生活ハ法律無キモ、法律有ルト同ジ、生活ヲ爲ス點ニ在ル、是ガ即チ民衆生活ノ實際デアル、故ニ斯ル規定ガ無ク、官僚的ナ規定ノ支配ヲ受ケナイデモ、心ヨリ德義的ニ道徳的ニ、此條項アルト同ジダケノ義務ヲ履行セシメヤウト云フ所ニ妙味ガアル、其人々ニ對シテ理事長トナリ副理事長トナル所ノ人々、其隠レテ居ル所ノ規定ニ依テ抑ヘラレル、規則ノ無イ所ニ吾々ガ一ツノ秩序ヲ造リタイト云フ點ニ注意サレタク、下岡委員、私ハ此點ニ付テハ實ニ衷心ヲ披瀝シテ此條ヲ入レナカッタ理由ヲ述べタズハアリマセンカ、之ニ依テ官僚的ノ色彩ヲ排シテ行キタイト云フコトハ、心ノ底ヲ割ッテ申上ゲタデハアリマセヌカ、ニモ拘ラズ意地悪クモ此條項ヲ入レヨト強ヒ、他ノモノハ民衆的ナラシメタイト言ハレナガラ、斯ノ如キ官僚的規定ヲ挿入セヨト言ハレルコトハ、吾々ノ立案ヲ翻弄セラレントスル外、何等意味ハ無イト思ヒマス、斯ノ如キコトハ過言デアルカモ知リマセヌガ、心ノ中ニアルコトハ尙ホ言ハナケレバナラヌ、本員ハ民衆的自治ヲ行ハントスル上ニ、政府ニ餘リニ反感ヲ持タシメスシテ其實ヲ擧グ、以テ我國ノ秩序アル發達二期セントレバコソ是ハ爲シタノデアリマシテ、何等ノ意義ナク是等ノ條項ヲ排除シテ居ルノデハナイ、此條項ハ我國ノ總テノ特殊現行法ノ中ニアル條文デアルガ、其條文ヲ取去ラテモ尙ホ同じ目的ヲ達シ得ベシト思フ、然ルニ是等ノ條文ヲ存置シテ、重役ヲ抑ヘ付ケル必要ガアルト思フト言ハレルニ至ラテハ、洵ニ遺憾ナ御主張デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタノデアリマス、第四ニハ「所屬」ヲ削ラレタ點ニアリマス、此點ニ對シ植原委員ハ以テ一般的民衆的ナラシメタイト云ハレタ言葉ハ少シモ本案ノ趣旨ニ觸レテ居ナイ論デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、此所屬ヲ入レルト否トハ、本案ヲ大藏省ノ管轄ニ屬スル金融機關「バンク」式ノモノトスルニ在ルカ、ソレトモ産業組合ノ大聯合會式ノモノニスルカト云フ、重大ナ點ノ岐レル所ノ大切ナ點デアル「所屬」ト云フ其言葉ハ平凡デアリ

マスケレードモ、之ヲ入レルト入レナイトニ付テ、政府ニ於テ  
モ大藏大臣ト農商務大臣トガ、十分國家ノ現状、我國ノ産業  
組合ノ發達ノ現状ヲ慎重ニ考慮シ、熟議ヲ遂ギ、閣議ニ於テ  
モ此點ニ付テ十分注意ヲ拂ハレタ點ト思ヒマス、吾々モ特  
ニ此二字ヲ入レルカ入レヌカト云フ點ニ付キマシテ、少カ  
ラヌ苦心研究ヲ遂ゲタ結果デアリマス、ソレヲ民衆的グノ、  
普汎的グノト云フヤウナ名目ノ下ニ左右セラレントスルト  
云フコトハ遺憾至極デアリマス、此場合更ニ之ヲ存置スル  
ノ理由ヲ述ベタイ、ソレハ何故カト云フト、之ニ依テ農商務  
務大臣ノ管轄——農務的色彩ヲ加ヘテ來タノデアリマス、  
即チ本案ノ全體ト云フモノガ、今迄吾々ノ考デハ主トシテ  
大藏省ノ管轄ニ置キタイト云フ點ニ在ツク所ガ、下岡委員ヤ  
植原委員ノ御主張ノ如ク政府ノ方ノ主張ハ農商務的色彩ヲ  
多ク加ヘタトイ云フコトニカタノデアリマス、此所屬下云  
フ言葉ヲ加ヘタ結果「ライファ・イゼン」式ナ色彩ヲ濃クシ、  
之ニ依テ産業組合ノ相互的組織、即チ「ミユーチアル」ノ組  
織ヲ徹底セシメント欲スルノデアリマス、吾々ハ相互的金  
融機關タルノ機能ヲ發達セシメント欲スレバコソ、「所屬」  
ト云フ文字ヲ置イタノデ、凡ソ我國ノ産業組合ヲ統一シ、農  
商務大臣ノ監督ノ下ニ産業組合ノ普及及發達ヲ期スル上ニハ  
總テノ組合ヲ所屬組合トスルニ在ルト信ズルカラ、デアル、  
ノミナラズ再修正者ハ以テ普汎的ナラシムル爲メト言ハレ  
ルケレドモ、一万四千ノ組合ヲ相互的ナラシメテ其徹底ヲ  
期スル上ニ於テ、是様重要ナ文字ハ無イ、何故ナラバ、彼等ハ  
總テノ組合ヲ爲シタル者モ、爲サムル者モ、權利ガ同ジデアルトナ  
ルモノヲ、ソレカ四分カ五分ニシカ廻ラナイ所ノ出資ラシ  
テハ、出資ヲ獎勵スル所以デナイ、蓋シ中央金庫業ノ出資  
ニ對スル配當ハ、歩合ガ少クシテ三分四分ト云フコトヲ豫  
想シナケレバナラヌ、他ヘ預ケルトナラバ六分七分ニ廻ハ  
ルモノヲ、ソレカ四分カ五分ニシカ廻ラナイ所ノ出資ラシ  
テ、以テ出資セザル者モ同シ權利ヲ有スルト云フコトニナ  
ラバ寧ロ出資シナイト云フヤウナ不心得ガ出テ來ナイトモ  
限リマセヌ、今ヤ我國ノ産業組合ハ相當ナ發達ヲ爲シテハ  
テ本當ノ精神的自治ヲ認メシメ實行セシメナケレバナラ  
居リマスケレドモ下岡委員ノ認メラレル通り、マダ「幼  
稚デアリマス、以テ我國民生活ハ「リマンストラクション」  
ヲシヤウトスルノニハ、モット堅實ナ發達ヲ望ミ、彼等ヲシ  
テ本當ノ精神的自治ヲ認メシメ實行セシメナケレバナラ  
ト二ツノ意味ガアル、即チ利益ヲ感ズルト同時ニ、國家生活  
ノ産業組合ノ興味ヲ感セシメナケレバナラヌ、此重大ナル  
意義アルコトヲ御理解願イタノデアル、或ハ本員ノ申上ゲ

ルコトハ尊嚴ヲ傷ツケルコトガ多イカモ知レマセ又ケレドモ、ドウカ此點ニ對シテモ相當ノ讓歩ヲ願ヒタイ、又第五ハ「第二十條ノ規定ニアリマス、此第二十條ノ規定ニ「無記名利便附」ノ下ニ「割引債券」ヲ入レタ方ガ宜イデハナイカト云フ點ニアリマス、是ハ敬意ヲ表シタイト思フ、唯々吾々ハ此上ニ諸般ノ用意ヲ致スコトモ敢テ晚シトセヌト思フ、今日ニ至ラテ、從來等ノ質問モナカッタ點ニ對シテノ修正ハ甚ダモ、立派ナ蒲團モ拵ヘテヤリタイト云フノデアリマス、多少不足ハアリセウガ、男ニ生レルカ女ニ生レルカ、生レタルカ、生レタク、兩頭ノ蛇タルトナルノ處ガアルガ故ニ、寧ロ改メテハ如何ト云フコトデアリマスガ、併シ是ハ長間官吏生活ヲセラレタル下岡委員ノ御言葉トモ覺ヘマセヌ、斯ノ如ク規定スルコトニ依テ、下岡委員ノ如キ修正ヲ爲スコトニ依テ兩頭ノ蛇タルコトヲ免レマスカ、吾々ノ如キ方針ヲ執ルコトニ依テ、兩頭ノ蛇タルノ弊ヲ助長シマスカ、ソレヲ御考ヲ願ヒタイ、殊ニ條文ノ上カラ言ヒマシテモ、斯様ナ風ニ澤山ノ條文ヲ列舉シ、是ト是トハ兩省ノ主管デアル、其他ハ農商務大臣ノ主管デアルト云フヤウナ規定ヲスルコトハ、益々以テ兩省ノ管轄上ヨリ生ズル困難ヲ濃厚ナラシメテ、却テ其間ニ於テ圓滿ナラザル結果ヲ生ズルカモ知レナイ、吾々ハ兩省ガ此條文有ルガ爲メニ争ヒ、無キガ故ニ争ハズト云フガ如キ徹底シタルモノニ非ズシテ、寧ロ弊害ヲ助長セシムル修正デアルト私ハ思フノデアリマス、最後ニ下岡委員ノ修正ニ付テ一言申上ゲマス、第十五條第十六條ノ復活デアリマス、之ニ對シテ唯今守屋君ヨリ言ハレマシタ所ニ於テ、私ノ言ハントスル所モ略ボ盡キテ居ルノデアリマス、若シモ是等ノ條文ヲ復活サセルナラバ、何故大藏省的ノ色彩ヲ多クセヨト言ハレマセヌカ、産業組合大聯合式ノ色彩ヲ加ヘテ、農商務大臣ノ所管ニセヨト主張シテ居ラレル人々ガ、銀行業務ニ關係スル事項ヲ益々是ニ入レヨト言ハレルコトハ、不合理モ甚シイ、左様ナ首尾一貫セザル事ハ本員等之ニ御賛成ヲスルコトガ出來ナインデアリマス、本昌等ガ當初ヨリ主張センヌ、銀行業者トノ競走ヲ避ケ、以テ相互的金融組織タラシメタイト云フナラバ、同時ニ是等ノ條項ヲ削ルト云フコトハ、我國ノ現在ノ制度ヲ圓滑ニ運用セシムル上ニ於テ、又管轄ヲ明ニスル上ニ於テ、之ヲ削ルノハ當然デアルト思フ、之ヲ

要スルニ下岡委員ノ御説、並ニ植原委員ノ之ニ對スル賛成意見ハ、共ニ何等ノ誠意ノ無イモノアルト思フ、先程カラ承ツテ居ルト、或時ハ金融機關主義ヲ御高調セラル、ニ拘ラズ、飽ク迄モ農商務主義ヲ採ラレル——農商務主義ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、大聯合主義ヲ主張セラレル、又或時ハ大聯合主義ヲ主張セラレルカト思フト、銀行主義ヲ主張セラレントシテ居ルノハ一貫ヲ缺イテ居ルト思フ本員等ハ其發達ヲシテ堅實ナラシムルガ爲ニ、此程度デ安産セシメタイト思フノデアル、本員ノ過言ヲドウカ許サレマシテ、希クハドウソ満場一致デ委員會ヲ通過シ、本會議ニ於テモ一致デ之ヲ通過セシメ貴族院ニ於テ政府當局ガ統一的説明ヲ爲シ、貴族院ノ諸君ニ於テモ釋然トシテ其意ノ在ル所ヲ諒解セラレテ以テ、一日モ早ク圓滿ニ此案ガ成立セシムルヤウニ努メラタイ、願クハ本員ノ過言及尊嚴ヲシタ言葉ヲ咎メズ熱心ヲ認メラレテ、ドウカ唯今ノ御提案——修正案ハ御撤回ヲ願ヒタク、過日本會ニ於テ言ハレタ下岡代議士ノ農村振興ノ御演税ノ第五項目ノ中ニ於テ、産業組合中央金庫ノコトヲ主張セラレ之ヲ高調シ、現ニ「セントラル、カッセ」ト云フ言葉迄使フテ説明シテ居ラレルノテアリマスガ、下岡委員ノ希望スル所ハ吾々政友會員モ希望シテ、互ニ努力メテ之ヲ成立セシメタナラバ、運用ノ上ニ於テモ弊害ナキヲ保スルコトガ出來ルト思ヒマス、ドウカ本員ノ誠意ノ在ル所ヲ御酌ミ下サレテ、今日ノ修正ノ點ダケハ御撤回ニナリ、反対意見ヲ御撤回ニナツテ、總テノ方面カラ心ヲニシテ之ヲ通過セシメラレムコトヲ、切ニ々々御願申ス次第アリマス、此希望ヲ述べ、以テ修正反対ノ意見トシタイト存ジマス

○下岡委員 唯今色々御話ガアリマシタガ、併シ吾々ハ決シテ無責任ナル修正ヲシタ積リデアリマセヌ、相當研究シテ居リマス、又議論モシテ居リマス、併シ意見ハ但シ本會ニ於テ述ベルコトガアルト思ヒマスカラ、今日ハ更ニ重ネテ申上ゲマセヌ

○武藤委員長 討論ハ終話シタモノト見テ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○武藤委員長 討論ハ終結サレマシタ、此機會ニ守屋君ヨリノ御質問ノ要點ヲ政府ヨリ聲明致シタイト云フ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス

○黒田政府委員 過日守屋サンカラ、市町村公共團體ガ無擔保デ借リマシタ場合ニ元利金ノ滞リマシタトキニ、監督官廳ニ對シテ、其處分ノ請求ヲシタ實例ガ有ルカト云フ御尋デアリマシタ當時記憶が明確デアリマセヌ爲ニ、確カニ三サウ云フ事實ガアッタ云フコトヲ申上ゲテ、尙ホ調査ヲ致

スト云フコトヲ申上ガテ置イタノデアリマスガ、調べマシタ結果勸業銀行ダケニ就テ調べタノデアリマスガ、水利組合ニ付テ知事ニ處分ノ請求ヲシタコトガアルノデアリマス又村ニ付テモ郡長ニ處分ノ請求ヲシタ實例ガアルノデアリマス、是等八十數年前デアリマスガ、近頃モ處分ノ請求デハアリマセヌガ、元利金ガ滯リマシテ、知事ニ依頼ヲシタト云フヤウナ實例ハアルノデアリマス、此點ヲ此機會ニ於テ申上げテ置キマス

○武藤委員長 是ヨリ採決ニ移リマス、採決ノ順序ト致シマシテ、瀧正雄君ヨリ修正意見ノ中ニハ、下岡君植原君モ御同意ノ點モアリマスカラ、先ヅ以テ瀧君ノ修正意見ヲ採決致シマシテ、更ニ下岡君ノ修正意見ヲ採決致シマス、瀧君ノ……

○下岡委員 サウシマスト瀧君ノ意見ニ付テハ吾々ハ賛成ノ點モアリマスカラ、或點マテ保留シテ採決セヌト工合ガ惡イデスガ……

○武藤委員長 ソレデハ共通ノ點ヲ先キニ取リマセウソレデハ只今瀧君ノ說カラ先キニ採ルト云フコトハ取消シマス、下岡君、植原君ノ修正意見ニ同意ノ諸君ハ起立

○武藤委員長 少數、次ハ瀧正雄君ノ修正意見ニ同意ノ諸君ハ起立

〔賛成者 起立〕

○武藤委員長 少數、次ハ瀧正雄君ノ修正意見ニ同意ノ諸君ハ起立

〔賛成者 起立〕

○武藤委員長 大多數デアリマス、サウシマスト下岡君ノ説ハ少數意見ニモナリマセヌ、産業組合中央金庫法案ハ瀧君君ノ修正意見ノ通り可決確定致シマシタ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後一時二分散會

大正十二年三月五日印刷

大正十二年三月六日發行

參議院事務局

印刷者 印刷局